

## 【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	上越市家庭教育支援チーム (呼称: 上越おやこ劇場 )
活動開始年度	昭和 63 年度
活動拠点	上越おやこ劇場事務所、市民交流施設オーレンプラザ
活動範囲	上越市内全域
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名 ) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ( )
組織体制	<u>10</u> 人 ボランティアスタッフ 10 人程度(うち事務局 2 人) ※会員は、平成 30 年 12 月現在 188 人
具体的な活動内容	<input type="checkbox"/> 講座型 <input checked="" type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他( )  <b>【活動内容】</b> 「～どの子ども豊かな子ども時代をすごすために～」を活動方針に掲げ、親子が共に考え、育み、成長することを目的に活動している。 地域の保護者や子どもが誰でも参加できる活動では、子どもたちが「やりたいことを実現する楽しさを体験させる場」として、以下のような活動等を行っている。 <input type="radio"/> うたあそび (対象:未就園児) 月1回、親子で手遊び歌や季節の歌、昔ながらの童謡を歌う遊びの場を提供する。 <input type="radio"/> あそびば (対象:全年齢) 年4回、親子と一緒に楽しめるような遊びを行い、親子活動の楽しさを体験できる機会を提供する。コマやけん玉などの昔遊びも取り入れるなど、大人も懐かしみながら楽しめるプログラムとしている。

	<p>上記のほか、不登校や引きこもりなど子どもに関する様々な悩みを持つ親が集う会も実施していたが、平成30年度から市の事業「上越市親の会」として取り組むこととなった(当チームのボランティアスタッフ5名がピアサポーターとして活動)。</p>
活動の成果	<p>活動への参加がきっかけとなって、気軽に話ができる仲間が増えたり、先輩ママに悩みを打ち明けたりできる居場所をつくるとともに、親子活動の楽しさを提供できた。</p>
活動において苦労した点や課題	<p>運営を担うスタッフの確保が年々難しくなっている。スタッフは仕事と家事をやりくりしながら参加しているため、事務を簡略化するなど、次の世代が負担に感じないような運営の在り方を探っていかなければならない。</p>
今後の活動目標	<p>より多くの子どもたちに参加してもらえるよう、地域に向けて周知を行いながら、「子どもが主役の場をおやこでつくる」活動を継続していく。また、異年齢の交流を通じて、大人も子どもも育ち合う関係をつくる。</p>
問合せ先	<p>(部署・氏名等) 上越おやこ劇場 (TEL) 025-522-4384 (E-mail) love-oyageki.joetsu@htk.ne.jp</p>

【「うたあそび」の様子】



【「あそびば」の様子】

